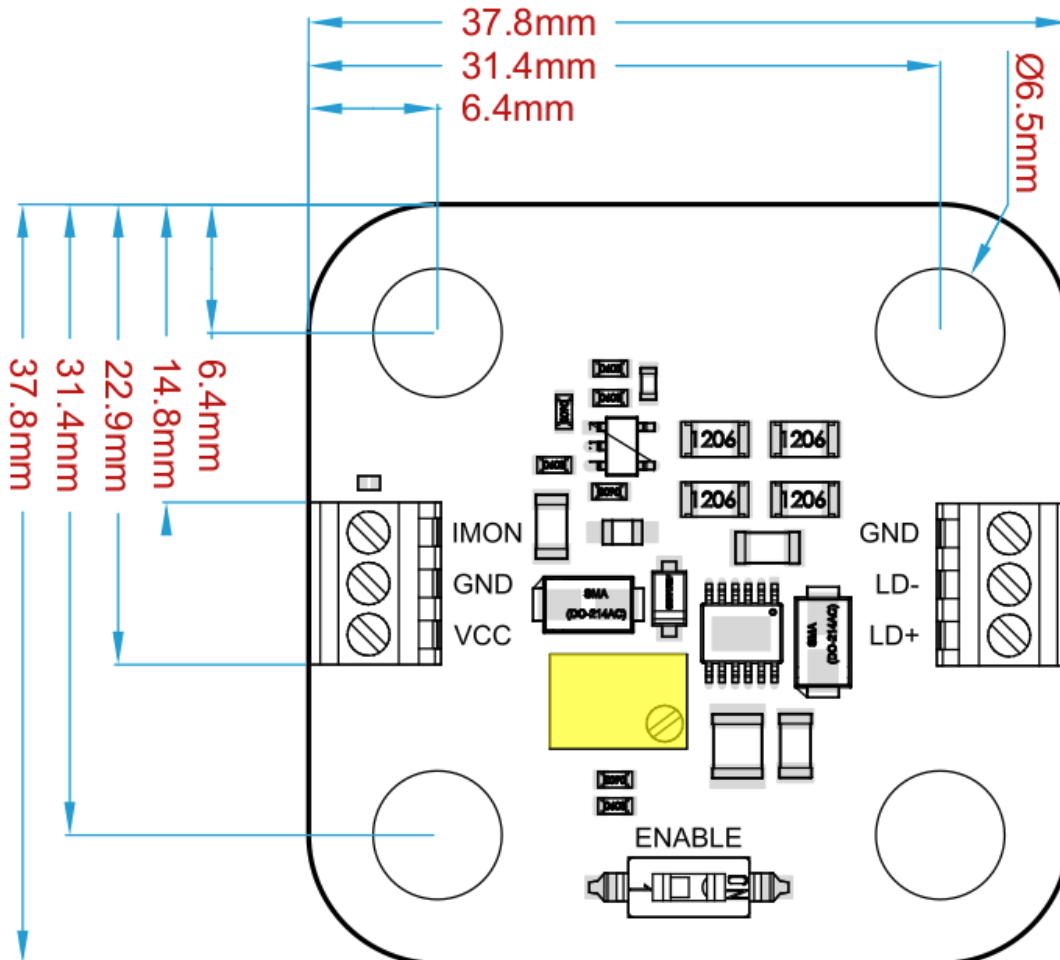




Quickstart



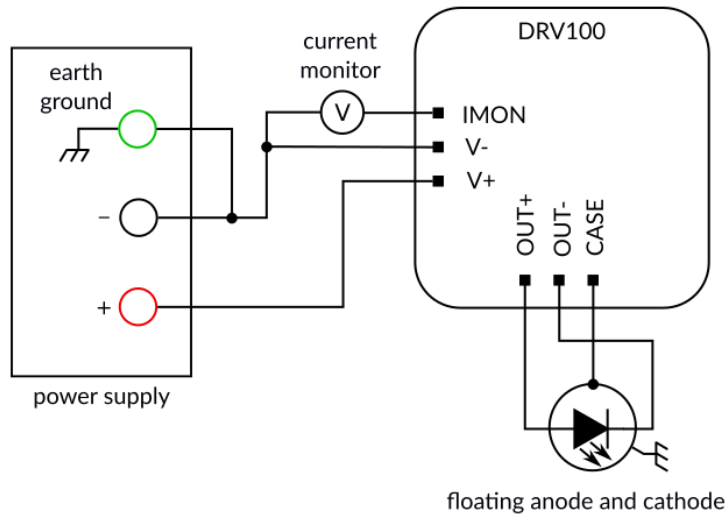
- 1 設定値のポテンシオメータ(黄色で表示)を反時計回りに回して、電流を0mAに設定します。
- 2 V+とV-のピンを3V~12Vの電源に接続します。
- 3 (オプション) OUT+とOUT-ピンの間に1Ωの抵抗を接続します。抵抗に流れる電流は、IMON端子で測定できます(DRV100-A-200では150 mV = 100 mA, DRV100-A-40では72 mV = 10 mA)。目的の電流に達するまで、ポテンシオメータを時計回りに回します。
- 4 電源をオフにし、OUT+とOUT-ピンの間にレーザーを接続します。
- 5 電源を入れ、ポテンシオメータを調整します。



電氣的接続

フローティング・レーザー・ダイオード

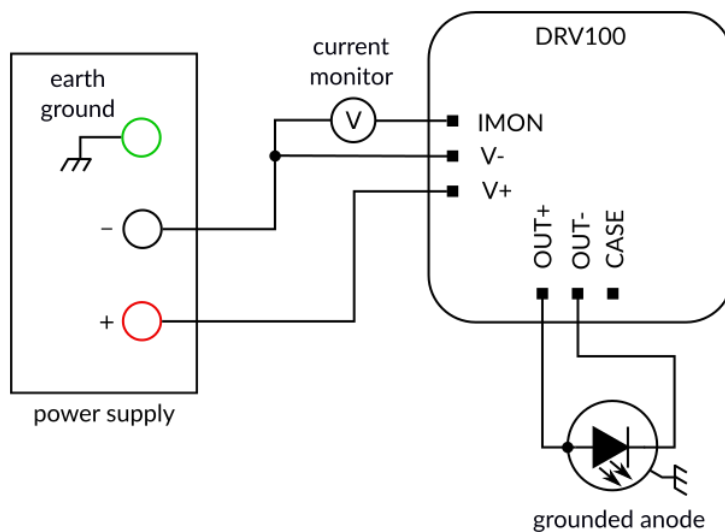
フローティングレーザーダイオードの場合、以下の接続が可能です。



CASEは、DRV100の内部でV-に接続されており、アースに接続することができます。グラウンドループを避けるために、電源のマイナス出力をアースから切り離すことができます。

レーザーダイオードのアノードの接地

レーザーダイオードのアノードがケースに締め付けられている場合は、以下のように接続してください。



フローティング電源が必要で、電源のマイナス出力にアースを接続してはいけません。ダイオードのケースは、DRV100のCASE端子に接続しないでください。